[費用便益の算定]

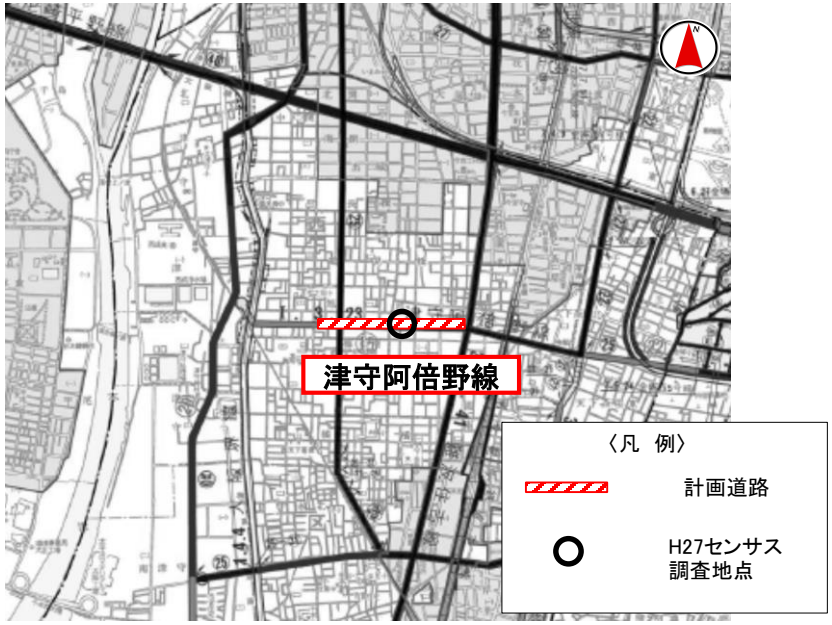
◆路線名：津守阿倍野線 （L=680m、W=25m）

事業番号：01

1. 各種の時点及び期間

供用年	令和 6 年度
交通量観測年	平成 27 年度
交通量推計年	令和 12 年度
価格基準年	令和 2 年度
検討期間	供用年から５０年間

2. 計画道路の概要



図－津守阿倍野線

3. 費用便益分析の結果

①旅行速度の算定

◆計画道路整備なしの場合

	計画道路（新規計画）	競合道路	競合道路
	津守阿倍野線		
交通量（台/日）	8,385		
交通容量（台/日）	5,600		
混雑度	1.50		
走行速度（km/h）	6.05		

◆計画道路整備ありの場合

	計画道路（新規計画）	競合道路	競合道路
	津守阿倍野線		
交通量（台/日）	8,385		
交通容量（台/日）	28,800		
混雑度	0.29		
走行速度（km/h）	36.00		

②歩行者の安全性・快適性の向上

≪住居系地区≫

沿道世帯数（世帯）	229
便益原単位（円／世帯・年）	151,000

≪商業・業務系地区≫

沿道建築物床面積（m^2）	35,080
便益原単位（円／m^2・年）	5,300

③便益（Ｂ）の算定

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	歩行者便益	合計
基準年	令和 2 年度				
供用年	令和 6 年度				
初年便益（億円）	6.8	0.3	0.0	2.2	9.3
便益総額の現在価値（億円）	117.4	5.7	0.3	42.1	165.6

④費用（Ｃ）の算定

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和 2 年度		
投資総額の単純合計（億円）	66.5	1.0	67.6
投資総額の現在価値（億円）	110.0	0.4	110.4

⑤評価指標の算定結果

社会費用便益比ＣＢＲ	Ｂ／Ｃ＝ 1.50

注）便益額、費用額については、小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。

[費用便益の算定]

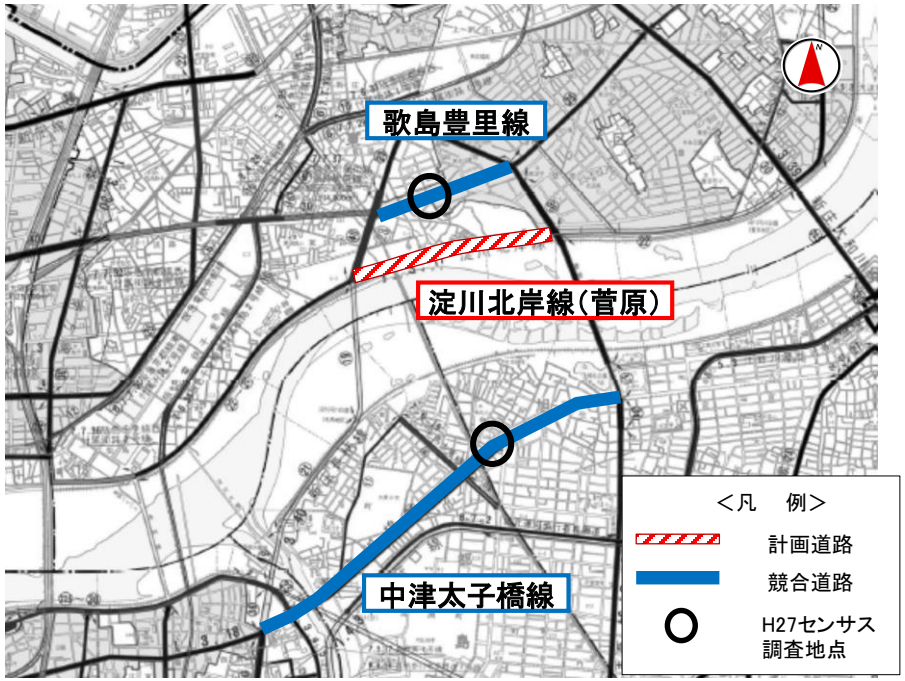
◆路線名：淀川北岸線（菅原）（L=1190m、W=22m）

事業番号：02

1．各種の時点及び期間

供用年	令和 13 年度
交通量観測年	平成 27 年度
交通量推計年	令和 12 年度
価格基準年	令和 2 年度
検討期間	供用年から５０年間

2．計画道路の概要



図－淀川北岸線（菅原）

3．費用便益分析の結果

①旅行速度の算定

◆計画道路整備なしの場合

	計画道路（新規計画） 淀川北岸線（菅原）	競合道路 歌島豊里線	競合道路 中津太子橋線
交通量（台/日）	0	20,773	27,041
交通容量（台/日）	0	20,160	20,160
混雑度	0.00	1.03	1.34
走行速度（km/h）	0.00	30.59	11.52

◆計画道路整備ありの場合

	計画道路（新規計画） 淀川北岸線（菅原）	競合道路 歌島豊里線	競合道路 中津太子橋線
交通量（台/日）	18,269	12,836	16,709
交通容量（台/日）	28,800	20,160	20,160
混雑度	0.63	0.64	0.83
走行速度（km/h）	44.53	34.82	33.71

②歩行者の安全性・快適性の向上

≪住居系地区≫

沿道世帯数（世帯）	244
便益原単位（円／世帯・年）	151,000

≪商業・業務系地区≫

沿道建築物床面積（m^2）	26,436
便益原単位（円／m^2・年）	5,300

③便益（Ｂ）の算定

	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	歩行者便益	合計
基準年	令和 2 年度				
供用年	令和 13 年度				
初年便益（億円）	18.1	0.8	0.6	1.8	21.3
便益総額の現在価値（億円）	231.3	10.6	7.5	25.7	275.1

④費用（Ｃ）の算定

	事業費	維持管理費	合計
基準年	令和 2 年度		
投資総額の単純合計（億円）	146.9	1.8	148.7
投資総額の現在価値（億円）	143.5	0.5	144.0

⑤評価指標の算定結果

社会費用便益比ＣＢＲ	Ｂ／Ｃ＝　1.91

注）便益額、費用額については、小数第二位を四捨五入しているため、合計値が合致しない場合がある。